

## 動画紹介 クイックシート溶融タイプ施工方法



クイックシート溶融タイプ施工方法を新たに作成しました。シート施工の一連の流れやシートの炙り方のポイントなどをご紹介します。

当社のYOUTUBEサイトや右のQRコードからご覧になれます。



## ブログサイトを開設しました



ブログサイトを開設しました。サンコーニュースのWEB版や、路面標示に関する記事、業界情報などのコンテンツを今後、ご紹介していきます。

当社のWEBサイトや右のQRコードからご覧になれます。



### クイックシート 溶融タイプ 受取り後のお願い

クイックシート溶融タイプの受取り後、すぐに梱包ダンボールを開封して、シートの状態の確認をお願いします。シートの軟化、段ボールへの貼りつきが無ければ、直射日光を避け、立て掛けずに涼しい場所で保管してください。

### クイックシート 溶融タイプ 施工直前の注意点



直射日光厳禁

クイックシート溶融タイプは熱により軟化、溶融します。そのため直射日光が当たる環境下では、段ボールとシート、またはシート同士が貼付く恐れがあります。

- 直射日光を避け涼しい所に保管して下さい。
- 高温の路面には、直接シートを置かないで下さい。

[発行]

サンコー企画株式会社

〒929-0447 石川県河北郡津幡町字旭山11番地2  
Tel:076-289-6708(代表) Fax:076-289-7992  
E-mail:sanko@sanko-kikaku.com  
URL:http://www.sanko-kikaku.com

ご注文・お問い合わせ

月刊 SANKO NEWS 7

2022年7月号 Vol.154

SANKO 株式会社サンコー企画

FREE

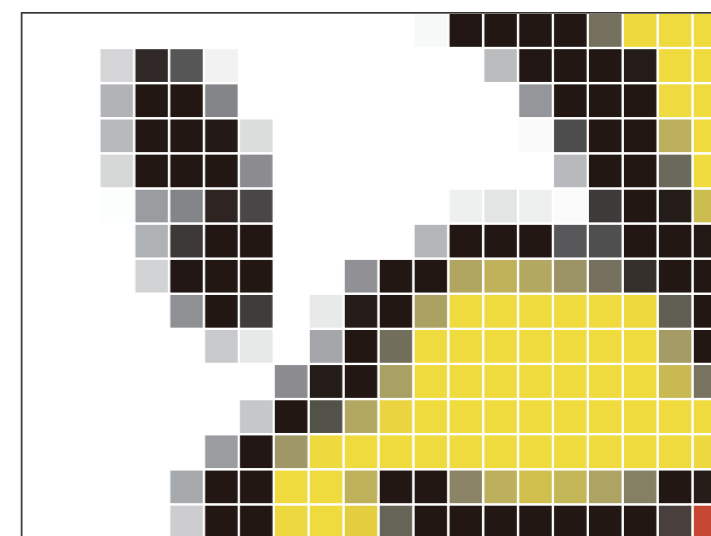
月刊 サンコーニュース

# SANKO NEWS

july  
2022  
Vol.154

7

## 路面標示デザインの考え方 [データ編]



# 路面標示デザインの考え方

## [データ編]



路面標示のデザインを作る時に、最初は手書きなどのラフ案を作成するとしても、最終的にはパソコン上でデータ製作をして完了となります。その際にデータの特長を知っていることで、キレイに見える写真や図形、文字などを表現できます。適合しないデータでデザインを作成した場合は、路面標示が機能しないことがおきる可能性もあります。

今回は路面標示の製作時に使用する「ベクタデータ」と「ビットマップデータ」などのデータの種類や適切なデータの選び方をご紹介します。それにより写真データの解像度設定やデータ支給時のファイル形式や路面標示デザインのデータ作成の際のご参考になればと思います。

### ベクターデータ と ビットマップデータ とは

「ベクタデータ」と「ビットマップデータ」とは、パソコンモニターで表現できる静止画像データのことです。データごとのメリットとデメリットがあるので、それぞれの特長をよく理解することで路面標示デザインする際に適したデータの作成ができます。

	ベクターデータ	ビットマップデータ
データ例	<p>線と面で画像を構成している</p>	<p>ピクセル・ドットで画像を構成している</p>
意味	画像を、点の座標とそれを結ぶ線(ベクター、パス)などの数値データをもとに演算によって表現するデータ再現方式。	画像を色のついたピクセルやドットと呼ばれる点の羅列・集合として表現するデータ再現方式。
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ビットマップデータよりも容量が小さくなる。</li> <li>●拡大・縮小・変形しても画質が損なわれない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●きめ細やかな色表現ができる。</li> <li>●写真が表現ができる。</li> </ul>
デメリット	写真のような複雑な輪郭線や配色を持つ図形には再編処理できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●解像度が高くなるとデータ容量が膨大になる。</li> <li>●拡大・縮小等を行うと画質の劣化が生じる。</li> </ul>

	ベクターデータ	ビットマップデータ
利用場面	<ul style="list-style-type: none"> <li>●拡大して使用する必要がある図形や文字などを表す場合。</li> <li>●イラストや図面など、線や面の輪郭がはっきりした画像を作成する場合。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●細かい表現や透明感を出したい場合。</li> <li>●写真のように微妙な色の変化を表現したい場合。</li> </ul>
ファイル形式	<ul style="list-style-type: none"> <li>●AI ●EPS ●SVG ●DXF ●JWC ●JWW</li> <li>●PDF (ベクターデータをPDF形式で保存した場合。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●BMP ●GIF ●JPEG ●PNG</li> <li>●PDF (ビットマップデータをPDF形式で保存した場合。)</li> </ul>

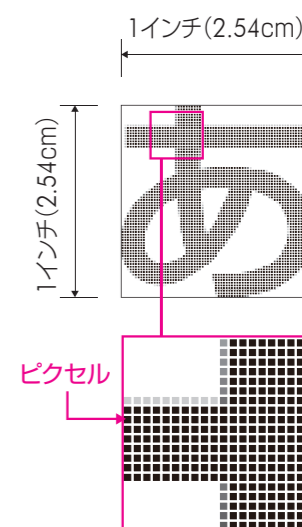
### ビットマップデータの解像度

ビットマップデータでは解像度をppiやdpiで表します。ppiはピクセル・パー・インチ(pixel per inch)の頭文字です。1インチ(2.54cm)の中に何個ピクセルがあるかを示しています。ピクセルとは、デジタル画像や画面を構成する最小単位で、色のついた微細な点のことです。

解像度は目的・用途によって適した数値があります。解像度が低いと、写真や図形、文字がキレイに表示されず可読できないこともおきます。そのため路面標示にビットマップデータを使用する際には、解像度200ppi以上を推奨しています。この理由として、路面標示は雑誌などの印刷物と違い、顔の近くで見ることが無く、100~150cm以上の高さから見るが多いためです。

ただしキレイに表示するため、解像度が高くなりすぎるとデータ容量が大きくなり、メールからのデータ送信に対応できなくなるのでデータ容量も考慮する必要があります。

#### 解像度72ppiの画像イメージ



解像度72ppiとは(横:1インチ)×(縦:1インチ)の中に、(横:72個)×(縦:72個)のピクセルの集合体で構成されている画像データのこと。

72ppi	Webでよく利用される解像度。
200ppi	路面標示には対応可能。200ppi以上を推奨。*
350ppi	本や雑誌などの印刷物でよく利用される解像度。

※自社のシート出力時の推奨解像度。

### 路面標示デザイン データ作成方法のまとめ

- イラストや図面、文字など線や面の輪郭がはっきりしたデザインはベクターデータで作成。
- ビットマップデータの解像度は200ppi以上を推奨。
- 解像度の数値は表示のキレイさとデータ容量を考慮しながら決定。